

平成27年度「那珂川における標識アユ放流調査結果」

- ・放流場所の上下12.5kmの範囲（上流6km、下流6.5km）で再捕を確認。
- ・日間成長率は1.68%と推定され、成長は悪かった。
- ・釣りによる回収率は約5%と推定された。

調査方法

- ・標識アユを放流し、釣りによる再捕結果から、標識アユの移動、成長、回収率を調査しました。

標識アユの放流

標識作業：2015年3月20日（左腹ビレ切除）
放流河川：那珂川
放流日：2015年3月31日
放流量：15,000尾（平均13.7g）
放流場所：湯殿大橋下流

標識アユの移動と成長

- ・黒羽地区町裏（放流地点から上流6km）から小川地区（放流地点から下流6.5km）で標識魚を確認しました。
- ・6月20日から7月4日にかけて黒羽地区で再捕された7尾の全長と体重を測定しました。



| 再捕日 | 地区 | 全長(mm) | 体重(g) | 備考 |
|-------|------|--------|-------|-------|
| 6月20日 | 黒羽町裏 | 207 | 80.9 | |
| 6月20日 | 黒羽町裏 | 174 | 44.3 | |
| 6月27日 | 黒羽町裏 | 203 | 66.4 | ダイワ大会 |
| 6月27日 | 黒羽町裏 | 210 | 74.1 | ダイワ大会 |
| 6月27日 | 黒羽町裏 | 184 | 51.0 | ダイワ大会 |
| 6月27日 | 黒羽町裏 | 174 | 38.6 | ダイワ大会 |
| 7月4日 | 黒羽町裏 | 213 | 75.1 | シマノ大会 |



日間成長率

1.68%

解禁日（6/1）の
推定サイズ

38.6g

- ・再捕魚の日間成長率は1.68%と推定されました。
- ・通常、河川での日間成長率は3%以上ですので、成長はかなり悪かったと考えられます。また、冷水病の発生等により大型魚の減耗が起こっていた可能性も考えられます。
- ・解禁当初の再捕報告がなかったことから、渇水と冷水病の発生が釣れ具合や成長に影響を与えていたことが考えられます。

標識アユの回収率

- ・漁獲量調査の結果から、年券の釣り人による標識アユの釣獲尾数を推定しました。

漁獲量調査の結果（黒羽～小川地区への出漁）

調査員数：115人
 出漁日数：510日
 釣獲尾数：3,625尾
 標識アユ：7尾



推定結果（黒羽～小川地区への出漁）

延べ出漁人数：61,332人（49,421～76,114）
 総釣獲尾数：390,050尾（229,079～664,133）
 標識アユ：753尾（147～3,862）

（ ）内は95%信頼区間

- ・この結果から標識アユの回収率（釣獲尾数/放流尾数）は、5.0%（753尾/15,000尾）と推定されました。
- ・投網やヤナの漁獲を合わせると回収率はもう少し高くなると考えられます。釣りについても、日券の釣り人の釣獲が含まれていません。ただし、日券の発券枚数は4漁協全体で2,128枚でしたので、その影響はわずかだと考えられます。

水産試験場 担当：高木
 電話：0287-98-2888
 FAX：0287-98-2885